

令和2年11月6日  
国土交通省 高山国道事務所

いしうら みやとうげ  
国道41号石浦バイパス（宮峠トンネル）が  
令和2年12月12日（土）に開通します

## PRポイント

高山国道事務所では、交通安全の確保、救急医療活動の支援、地域生活の支援等を目的に、石浦バイパスの整備を進めています。

このたび「宮峠トンネル」が、令和2年12月12日（土）に開通しますので、お知らせ致します。

## 1. 開通区間の概要

- 開通区間：国道41号石浦バイパス（宮峠トンネル）  
たかやま くくのちょうくくの たかやま いちのみやまち  
高山市久々野町久々野～高山市一之宮町

延長4.7km（2車線）

（うち、宮峠トンネル区間延長3.6km、現道活用区間延長1.1km）

※開通式典、開通時間などの詳細は、決定次第、別途お知らせ致します。

2. 添付資料 別紙1：国道41号石浦バイパス 宮峠トンネル区間概要  
別紙2：期待される整備効果
3. 配布先 高山記者クラブ
4. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所  
副所長 堀 豊裕（ほり とよひろ）  
計画課長 大崎 義保（おおさき よしやす）  
TEL：0577-36-3811（代表）  
FAX：0577-36-3801

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

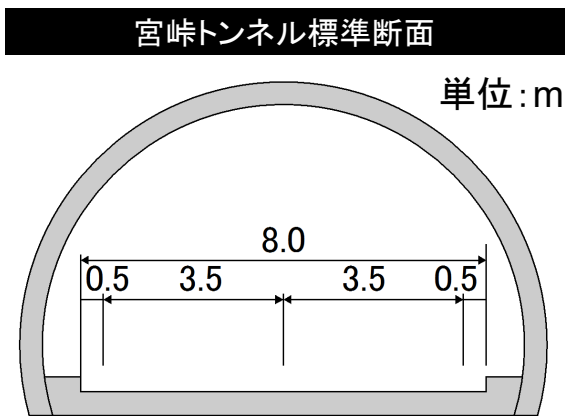
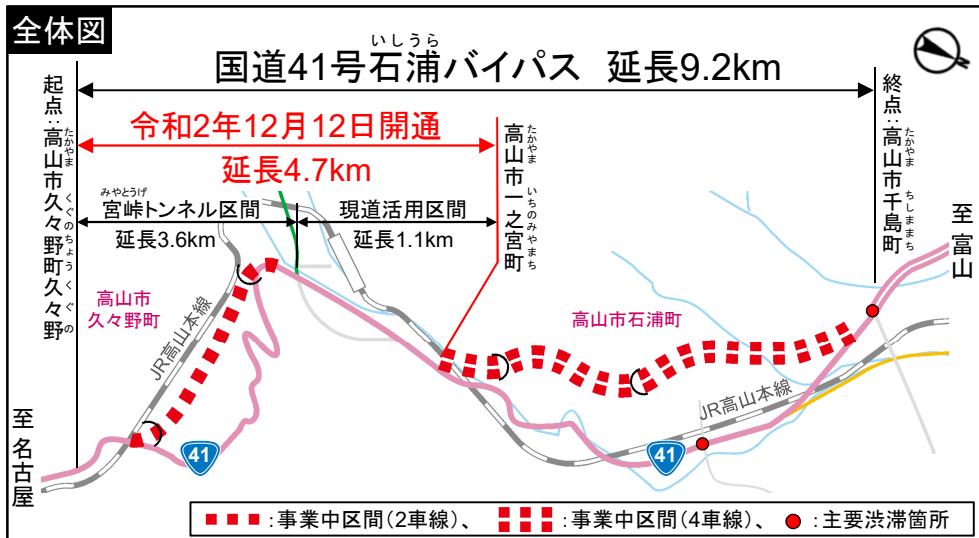
# 国道41号石浦バイパス

## 宮峠トンネル区間概要

別紙 1

■ 国道41号石浦バイパスは、地域高規格道路「高山下呂連絡道路」の一部を構成し、交通安全の確保、救急医療活動の支援、地域生活の支援等を主な目的とした国道41号のバイパス道路です。

■ 令和2年12月12日、宮峠トンネル区間(延長3.6km)と現道活用区間(延長1.1km)を合わせた延長4.7km区間が開通します。



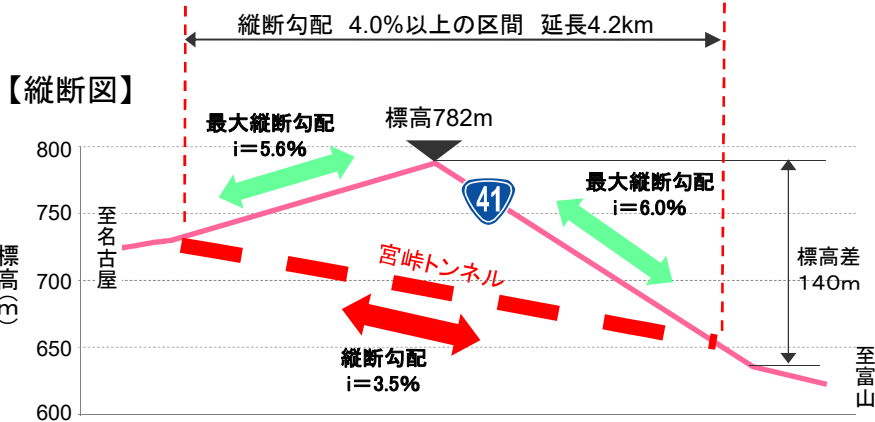
## 交通安全の確保

- 国道41号現道は、急カーブ、急勾配が多く交通事故が多発しており、また冬期積雪時には大型車がスタックする等、危険性が高い区間です。
- 石浦バイパス(宮峠トンネル)の開通により、課題箇所をバイパスすることで、道路利用者の交通安全を確保します。

### 〈国道41号現道の課題〉

■ 事業中区間	○ 急カーブ箇所(曲線半径100m未満)	⊗ 軽傷事故
— 一般国道	← 急勾配区間(縦断勾配4.0%以上)	✕ 重傷・死亡事故
— 主要地方道	▬ JR高山本線	
— 市道		

出典:交通事故・道路統合データベース(H21-H30)





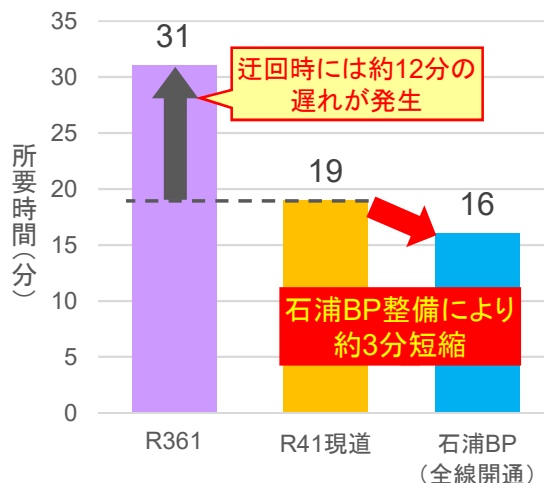
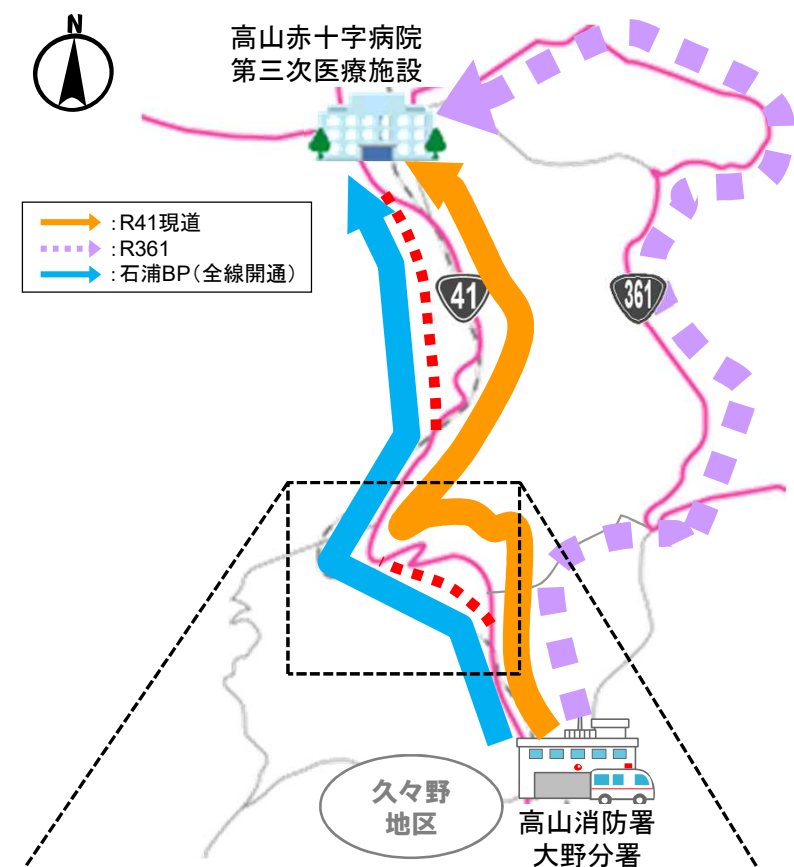
# ～期待される整備効果②～

## 救急医療活動の支援

■ 高山市内の救急搬送のうち大野分署～高山赤十字病院への搬送においては、国道41号が利用されていますが、国道41号が通行不能となった場合、迂回により約12分の遅れが発生します。

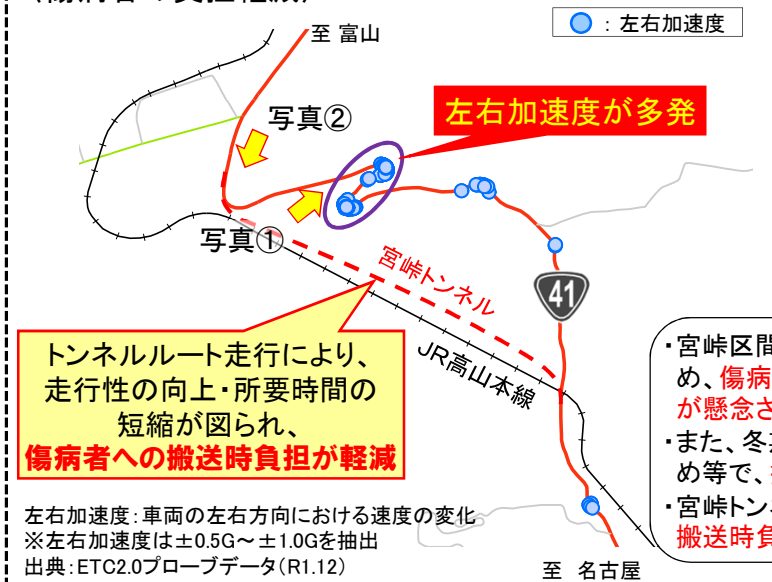
■ 石浦バイパス(宮峠トンネル)の開通により、道路の走行性が向上し、傷病者の負担軽減が期待されるとともに、走行時間が短縮する等、救急医療活動を支援します。

### 〈大野分署～高山赤十字病院の救急搬送経路〉



出典：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査  
バイパス区間は設計速度(1工区：60km/h、2工区：80km/h)で算出

### 〈傷病者の負担軽減〉



- ・宮峠区間は急カーブが連続し、勾配が急なため、傷病者へ搬送時の縦揺れ、横揺れの影響が懸念されています。
- ・また、冬期大型車両のスタック等による通行止め等で、搬送時間の遅延も懸念されています。
- ・宮峠トンネルの開通により、これら傷病者への搬送時負担が軽減されることが期待されます。



(高山消防署大野分署)

# ～期待される整備効果③～

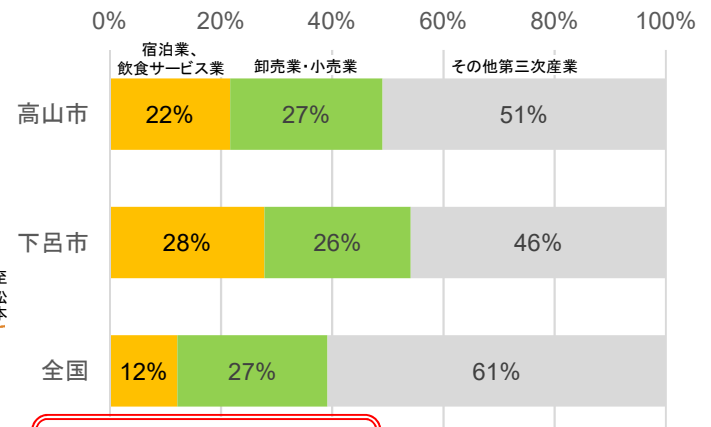
## 地域生活の支援

- 高山市・下呂市は、観光が主要産業であり、近年の観光入込客数は増加傾向。
- 高山市と下呂市間の通勤通学も多く、国道41号は、地域生活に重要な路線です。
- 石浦バイパス(宮峠トンネル)の開通により、高山市と下呂市が安全な道で結ばれ、観光活性化や通勤通学等を通じ、両市の地域生活を支援します。

### 〈国道41号沿線の観光施設〉



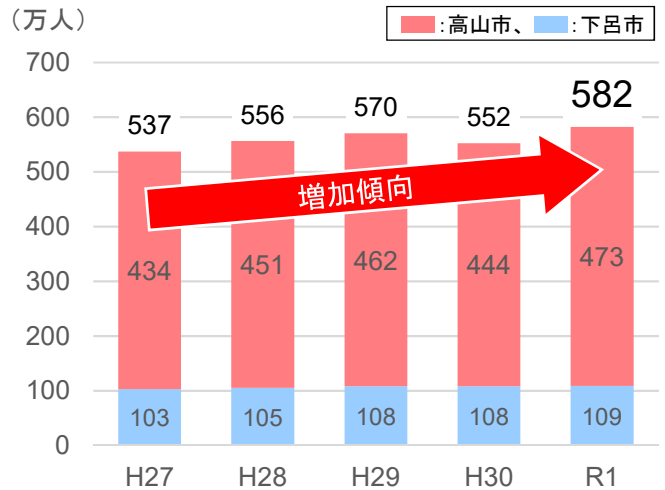
### 〈第三次産業の産業別従業員数割合〉



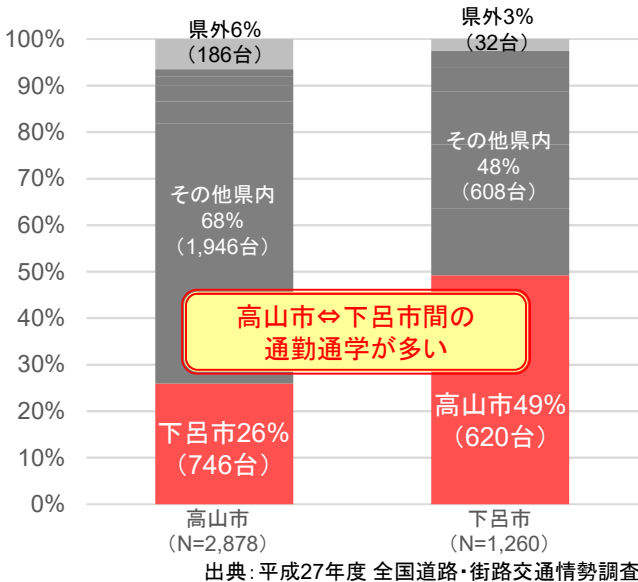
宿泊業、飲食サービス業の割合が高く観光産業が盛ん

出典：平成28年経済センサス

### 〈高山市と下呂市の観光入込客数〉



### 〈高山市⇄下呂市間の通勤通学〉



### 【参考例：特急バス(濃飛バス)】



- ・高山と下呂間では、国道41号を通行する特急バスが運行しており、観光客に多く利用されています。
- ・宮峠は事故が多く、通行止で通行できなくなることがあります。また、冬期は凍結の危険性が高く、運転手の負担が大きいです。
- ・石浦バイパスが整備されれば、安全な運行ができ、地域の方や観光客の満足度の向上にもつながると思います。

